



毎月23日は
家庭読書の日
Tamba city library

図書館員がおすすめる

今月の推し本



一般書

『小説嘘つき魔女と灰色の虹』 そらる／著 (KADOKAWA)

「歌手」としてネットシーンで人気の「そらる」さんが自身のボカロオリジナル曲をノベライズ！



舞台は“イロ”を失った世界。色彩が見えるのは“魔法使い”だけ——。
「全てが同じに見える煤けた世界で、草花は、鳥は、虹は、ぼく自身は、本当はどんなイロをしているんだろう。魔女に会えたら、ぼくにも見ることができるのかな」

秋の夜長、オリジナル曲とともにファンタジーの世界に行ってみませんか？

児童書

『かなしきデブ猫ちゃん 兵庫編』 早見 和真／文 かとう かいん／絵 (京阪神エルマガジン社)



額にクールな「ハ」の字の入った通称ハチワレ、
3歳のオス猫（またの名をデブ猫）「マル」。
広い世界を見てみたい！！と、生まれ故郷の愛媛からスタートした
「マル」の大冒険の旅。この作品では舞台が兵庫県に。
なんと「マル」は丹波市にもやってきます。
丹波市への道案内をしてくれるのは同じ3歳の「ぴーちゃん」。
大きな身体に「マル」を乗せて運んでくれる
丹波市のシンボル「ぴーちゃん」っていったい誰のことでしょう？
兵庫五国を駆け巡る彼の旅の物語は、大人の方も楽しめること間違いなしです。